



ひがしかぐら

こんにちは

議会だより です

NO. 100

ひがしかぐら

主な内容

- ・ 年頭のあいさつ
- ・ 一般質問 11名
- ・ 第4回定例会議案審議
主な議案・臨時会
- ・ 祝100号 議会だより
- ・ 平成31年 成人式



かぐらっき

表紙写真：義経さくら太鼓・新春初打ち

謹賀新年



年頭のあいさつ

東神楽町議会議長 時 田 栄

新年、明けましておめでとうございます。
ご家族お揃いで輝かしい新春を迎えられましたことに、心よりお慶びを申し上げます。

昨年、日本は全国的に猛暑となり「災害級の暑さ」とまで言われましたが、合わせて全国各地で台風・豪雨災害、地震災害が発生するなど、自然が猛威を振るいました。北海道でも9月6日に胆振東部地震が発生し、多くの尊い人命が失われ、また大勢の方々が被災し、仮設住宅での日常生活が余儀なくされており、改めて被害にあわれました皆さまには心からお見舞い申し上げます。

本町におきましても、7月に豪雨による水害が発生し、9月には地震後の「ブラックアウト」により町内全域が停電となり、段階的に復旧していきましたが地区によっては約2日にわたり停電が継続しました。改めて自然の驚異を痛感すると同時に、常日頃からの災害への心構え、備えの重要性を実感しているところでもあります。今年こそ、災害のない穏やかな一年になるよう祈りたいと思います。

一方、明るい話題では、旭川空港の国際線ターミナルビルがオープンし、北海道を訪れる外国人観光客にとって利便性が高い空港となり、広域観光ルートの拠点として旅客の増加を期待するところであります。

また東神楽町での国営緊急農地再編整備事業がス

タートし、これから農地の大区画化と集積・集約化が進み、省力化技術の導入により生産性の高い基盤が形成され地域の活性化が図られていくものと思っております。

スポーツでは、北海道日本ハムファイターズから大リーグのロサンゼルス・エンゼルスに移った大谷翔平選手が期待を上回る活躍をして見事に新人賞に選ばれたとともに、テニスの大坂なおみ選手が全米オープンで優勝しました。そのほか卓球やバドミントン、冬季スポーツなどで、若い日本選手が世界で躍動し、大変頼もしく感じる明るいニュースも数多くありました。

本年は、天皇陛下の退位と皇太子殿下の即位が行われ、5月から新元号による新しい時代の幕開けとなります。

当町議会も時を同じくして新しい議会構成となりますが、議員一同、その職責を認識し住民全体の立場に立つて、活力ある東神楽町の発展を目指して、議員活動に努めていくことに変わりはありません。

今後も引き続き、当町議会に対し、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本年が町民皆様にとりまして、健康で、明るく、幸せな一年となりますよう、ご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

「開かれた議会」「顔が見える議会」 を目指してまいります

私たちは町民の皆さまと共に歩みます

東神楽町議会議員一同



各委員会の紹介

● 議会運営委員会

委員長 清野 修一
副委員長 窪田 功一
委員 渡辺 孝志
委員 森國 芳
委員 伊藤 一乗

● 議会広報常任委員会

委員長 竹久 美紀恵
副委員長 山口 千春
委員 渡辺 孝志
委員 森國 芳
委員 生出 一乗
委員 伊藤 一乗

● 文教産業常任委員会

委員長 渡辺 一志
副委員長 大門 登
委員 清野 修一
委員 竹久 美紀恵
委員 生出 一乗

● 総務厚生常任委員会

委員長 森國 孝芳
副委員長 中屋 千孝
委員 山口 春
委員 窪田 功
委員 丸田 隆嗣
委員 伊藤 一乗

ここが聞きたい

一

般

質

問

第4回定例会では
11人が一般質問しました。



渡辺 一志 議員

- 1 除雪の行き届いた「町づくり」を
- 2 ブラックアウトを経験した我町の防災対策は

伊藤 一乗 議員

- 1 当町小中生のいじめ、不登校調査の実態は
- 2 当町教職員の長期休職者・欠員の实態は



竹久美紀恵 議員

- 1 災害時の緊急対策は万全か
- 2 国保診療所に医師2名体制の検討を
- 3 ゴミ袋のサイズの検討を



森 國孝 芳 議員

- 1 農業振興対策について
- 2 町道の改修について
- 3 留学生支援について
- 4 教育行政方針について



清野 修一 議員

- 1 防災無線の戸別受信機は中小企業の事務所にも必要ではないか



丸田 隆嗣 議員

- 1 複合施設整備事業について





大門 登 議員

- 1 施設入所費用の補助について
- 2 一般質問の答弁、その後の対応は

山口千春 議員

- 1 自然災害時、非常時の保育園の対応は
- 2 国の新しい森林政策への対応は
- 3 過去取りやめたフットパス整備の再考を



中屋 豊孝 議員

- 1 まちづくりの基本は
- 2 特定健診の補助（助成）の実施を
- 3 移住・定住・空き家対策について
- 4 アライグマの対策について
- 5 台湾交流事業と外国人労働者について

生出 栄 議員

- 1 子育て支援策の拡充を
- 2 安全な町ひがしかぐらの為に
- 3 決着済と言う事件の議事録をなぜ秘密に



窪田 功 議員

- 1 ふれあい交流館に自家発電機の設置を
- 2 11号バス停留所に待合場の設置を
- 3 義経公園のリニューアルをいつ

質問・答弁は要約されています
議会だよりでは質問の内容を要約して載せております。質問全文については、スペースの都合から載せることができませんが、詳しく知りたい方は、東神楽町議会事務局とふれあい交流館に会議録が置いてありますので、どうぞご利用ください。

一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更し、是正させ訂正させ、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果があります。

定例会のみで行われ、東神楽町議会での一般質問の時間は、一人45分までとなっています。臨時議会においては、一般質問はありません。

一般質問の機能

①監視機能、つまり執行機関の事務執行や行政運営について、それが適切に行なわれているかを監査する機能を持ちます。

②政策提案機能も持ちえます。

渡辺 一志 議員



問 除雪の行き届いた「町づくり」を

答 財政上非常に厳しい

質 問 我町の除雪は管内でも高い評価を得ており、他町村の方から「東神楽は除雪がきれいでうらやましい」との声も聞かれます。

日夜、頑張っている関係者の皆さんに感謝しているところであります。

近年は3回の排雪がなされていますが「冬でもきれいな町づくり」を目指して除排雪作業を充実させて「夏も冬もきれいな東神楽町」を作っていく考えはないのでしょうか。

町長答弁 除雪費が除雪延長により年間一億円ほど費しており財政面から考えると非常に厳しい状況です。

各戸の除雪は小型除雪機の貸出や除雪サービス協力員、融雪施設等設置補助などの支援をご利用ください。

住民の皆様のご理解とご協力をお願いしながら効率的な除排雪を実施して参ります。

再質問 夏は花のまちとして、冬は除雪の行き届いたきれいな町づくりを目指す考えはないのか再度、問います。

除排雪用機械のメンテナンスと更新、高性能な機械の導入やオペレーターの確保と後継者の育成、更には直営と委託を含めた技術の平準化、向上を図る考えはありますか。

町長再答弁 夏は花のまちとしてきれいな町として評価を得ています。冬もできる限り除雪をしつかりし

ていこうと考えています。

除雪作業機は国や道の補助事業を活用し、適切に更新をしていくと共に高性能機械についても検討して参ります。

オペレーター等人員の関係は人手不足で厳しい状況ですので待遇や環境の改善等により総合的に取り組んで参ります。

直営と委託の件は意見交換をしながら進めて参ります。

家庭内もしくは敷地内の雪の対応は重要な事であり、融雪施設やロードヒーティング等の補助は継続しPRをして参ります。



除雪車両

ブラックアウトを経験した
我町の防災対策は

質 問 先日発生した全道的な大停電以降、我町の防災対策は改善されたのですか。

特に老人福祉施設であるアゼリアハイツの備えはどうなっていますか。

老人や介護が必要な方々の避難所として指定すべきと考えます。

更に町内には多くの福祉施設がありますが、災害時における協力連携体制はとれていますか。

町長答弁 避難所の規模や設備の状況により、計画的に非常用発電機の設置を検討して参ります。

アゼリアハイツについては社会福祉協議会と協議をして福祉避難所としての指定や必要な防災備蓄の整備を検討して参ります。

再質問 災害はいつ来るかわかりませんので各施設の非常用発電機の設置は急務であります。

アゼリアハイツの福祉避難所指定と共に発電機やクレーン等の設備も充実を図り、安心して生活できるよう備えるべきである。

町長再答弁 気を引き締めて、新たな対応をしていきたいと考えます。



特別養護老人ホームアゼリアハイツ

伊藤 一 議員



問 当町小中生のいじめ問題と、不登校の実態は

答 定期的な教育相談や家庭訪問を実施、面談や学習支援に取り組んでいる



「いじめ・不登校問題」の風景

質問 文科省では、例年全国の小中学校、特別支援学校の問題行動や不登校児童生徒の調査を実施しており、認知したいじめ件数が過去最多となったことを公表しております。道内でも約一万三千件と、初めて一万件を超えたと発表しており、昨年、当町でも不登校、別室登校の児童生徒が確認されておりますが、今年度の実態やこれらの対策等について答弁願います。

教育長答弁 今年度の状況は、11月現在の別室登校の児童生徒は小学校で1名、中学校で4名となっております。

不登校児童生徒の対応については、定期的な教育相談や家庭訪問を実施しているほか今後も、専門職を活用して首長部局や関係機関とも連携しながら不登校対策を進めます。

再質問 問題児に対する教育相談や家庭訪問が形式のみの面談となっていないか、また、生徒自身が面談を拒否する場合もあるのではと思われ

ます。

家庭環境や人間性、性格も違う中で同一の結論を打ち出すことは困難であるものと思われ

ます。

また、各自治体にある不登校児童の保護者会では、「矯正させる特効薬はない。むしろ子供に理解してもらうことが重要」とも報告されており、先生は、この間に入り込むことができるかどうか、大変難しい問題だと思います。

教育長再答弁 現在進めている来年度から導入予定の、小中一貫教育を通して中一ギャップを解消し、不登校やいじめ問題の未然予防に努めてまいります。

当町における教職員の長期休職・欠員の実態は

質問 毎年、道内において「過重労働」が原因とされるストレス障害や過労死問題が大きく取り上げられており、重点5業種の中で、特に顕著とされる教職員の長時間勤務が常態化しているとの報道もあり、過労死ラインの80時間を大きく上回るとする調査の結果が公表されております。

今、小中学校の児童生徒のいじめや不登校問題の教育指導の根幹に携わる教員自身が長時間勤務やストレスに悩まされ、それが長期休暇職員の発生につながるとするならば、問題の解決はさらに遠のくことになりかねません。

この実態と対応策についてご答弁ください。

教育長答弁 当町教職員の勤務時間については、平日の勤務時間の平均は約10時間と、全国平均をやや下回る状況となっております。

しかし、正規の勤務時間を大幅に上回っており、また、長期休暇等の教職員はおりませんが、教職員の働き方改革は喫緊の課題であると認識しております。

今後も、学校現場の状況を的確に把握し、働き方改革を進めます。



悩み多き人

■ 竹久美紀恵 ■ 議員



問 災害時の緊急対策は万全か

答 状況を勘案しながら検討します

災害の緊急対策は万全か

質 問 冬場に起きる地震災害の死亡率は夏場の約2・2倍になると予測されています。避難所となる体育館でも気温が低い時期は低体温症の危険が伴うと言われています。この度、避難所によって毛布や食料品の無いなどの偏りがありました。職員の災害時対応の連携も図って頂きたいと思います。

町長答弁 今後、避難所の規模や施設内の状況を勘案しながら非常用発電機等の設置を検討してまいります。

引き続き職員との連携を密にし、災害体制を整えて行きたいと思えます。

再質問 備蓄食糧の対応はどのようにしていますか。破棄せずに町民に還元するなど食品ロス対策も行って頂きたいと考えます。

町長再答弁 賞味期限の管理を行い、災害の行事等において参加者に食べて頂くなど使用方法を今後、進めて頂きたいと思えます。

国保診療所に医師2名対しの検討を

質 問 子どもと高齢者が増えている東神楽町において、一人の医師が町の児童検診や特養の担当医を兼ねているなど、医師に負担をかけてい

るのではありませんか。検診・検査や学会で休診が続くので町民は不便や不安を感じています。

2名体制にし、往診もできる、ゆとりのある診療体制を作って頂けませんか。

町長答弁 常勤医師が一名であることから休診させて頂くことが多く、町民の皆様には不便・不安な思いをおかけしています。現在、特養に嘱託医師一名を採用しており、常勤医師二名はコストが高くなり現状では厳しいと思います。

再質問 国保診療所は地域医療として無くてはならないものです。早急に赤字体制の経営改善対策を検討し、診療体制の構築をして頂きたい。

町長再答弁 地域として医療はしっかり守らなければならないと考えています。赤字体制の経営改善を図るとともに、町民が安心して暮らせるよう診療体制の構築を検討してまいります。

ゴミ袋のサイズの検討を

質 問 子どものいない家庭や高齢者の家庭では、ゴミは毎回45ℓは出ません。夏場のゴミや生ゴミの処理には大変困っています。

また、高齢者は重くて運べないこともあるようです。他の市町村のような大、中、小の袋に変更すること

を要望いたします。

町長答弁 現状で袋を作る場合シールより7倍費用が高くなります。

シールの方が良いと考え継続の予定です。年々ゴミ増加により料金の改定も検討してまいります。

再質問 袋のサイズの多様化と資源ゴミの分別指導を行うことで、ゴミの減量化に繋がり、料金改定のおりには、最小限の料金に押さえることにも繋がるのではありませんか。

町長再答弁 何か良い方法がないか企業組合とも協議し、引き継ぎ調査、研究をさせて頂きたいと考えております。



企業の広告を入れた旭川市のゴミ袋

■ 森 國孝 芳 ■ 議員



問 外国人留学生の支援に対し、当町はどう対応しますか。

答 今回の参加は見送ります。



アライグマの写真

質 問 東川町は外国人留学生を対象とする奨学金を新設し、賛同する管内自治体と協議会を発足させようとしています。

これに対する町長の方針を伺います。

町長答弁 町内の介護施設等と連携を図る必要があり、高額な費用負担が生じることから、慎重な対応が必要であると考え、今回の参加は見送ります。

農業振興対策について

質 問 アライグマの農業被害については、個別的な対応では限界があります。全町的、かつ速やかな取り組みが必要です。

質 問 町道旭東線の改修工事（町道東1線の南西側）については、町長は国営緊急農地再編整備事業の進捗に合わせて実施するとしていました。今後の対応について方針を伺います。

町道の改修について



捕獲箱わなに対する助成措置を講じるなどして住民の協力を求め、同時的な駆除を図るべきと考えますが、町長の考えを伺います。

町長答弁 わなの設置、捕獲などについては「外来生物法」に基づく防除従事者として登録するなどの対応が必要になります。

猟友会や関係組織とも連携して、箱わなへの助成など、更に有効な対策を検討します。

町長答弁 町道旭東線については、ひじり野大橋から町道東1線までの区間が完成しました。その先から町道基線までの区間は道路や農地の高低差が大きく、改善には多額の費用がかかります。

今後は、国営事業の進捗に合わせて改修を実施します。

教育行政執行方針について

質 問 東神楽町は、花の町づくり景観条例を制定するなどして町民とともに花の町づくりや環境美化を推進しています。

教育現場を経た教育行政の長として、教育長はこれに如何様に臨むのかその方針を伺います。

教育長答弁 本町は条例等に基づき町民との連携のもと、東神楽町らしい町づくりを進めています。

今後も、次代を担う子どもたちが花の町づくりを通して東神楽町への愛着や誇りを持ち、この取り組みを次の世代に引き継いでいけるよう学校教育や社会教育での取り組みを推進します。

清野修一 議員



問 会社・企業にも防災無線の個別受信機を無償で貸与を

答 無償貸与を検討します

質問

近年の気象状況は大雨や強風による異常気象によって全国各地に多大なる被害が起きています。今やどこで災害が起きていても不思議ではありません。東神楽町においても、他人事ではなく大きな被害を受け町民生活が影響を受けています。

また、国の存亡を脅かすような事件がありJアラートも放送される事態となつて、今や防災無線機の果たす役割が強く必要不可欠となっています。

そんななか、東神楽町では防災無線施設のデジタル化事業が行われていて、より一層安定した電波で災害の未然防止情報を受けられるようになっていきます。しかし、防災行政無線施設に関する条例では、無償で設置できる場所が限られていて、特に会社・企業についてどうなのかの記述がありません。

常時、速やかに町民や町内で働いている人たちに防災の情報が受けられるような見直しが必要と考えられます。

町長答弁

東神楽町防災行政無線施設の設置及び管理運用に関する条例では、町が戸別受信機を無償で貸与する場所について、第一に世帯主の住家、第二に国、道、町その他公共的団体の事業所及び施設、第三に学校、幼稚園、医療機関、第四にその

ほか町長が必要と認めた場所と規定されており、世帯主の住家において複数設置する場合は有償で設置できることとしています。

現在、この規定に基づき第一の世帯主の住家以外で第二と第三について百か所程度の事務所や施設に無償で貸与を行っています。

ご指摘の会社・企業への貸与については有償での設置が基本と考えていますが、災害規定を締結し、災害発生時に緊急出勤などの対応を依頼する可能性のある企業について、無償で貸与できるようにしたいと考えています。



防災無線受信機

再質問

会社・企業には有償にしないくはならない明確な理由の答弁はないようです。会社・企業は町民税

や道民税を払っている事などから一個の世帯と考えることはできませんか。美瑛町や東川町に聞いてみますと無償の貸与ということでした。

町長再答弁 会社・企業には業務体系や従業員数などさまざまな条例が違っていることを考えると現段階では有償で貸与ということと考えます。

再再質問 町内全体で防災体制の構築を目指すならば、会社・企業にも無償の貸与が必要です。条例をいち早く改正しいつ起こるか分からない災害に取り組むべきではないですか。

町長再再答弁 災害時における会社・企業の従業員の安全をどうするかを考えると、たしかに防災無線の戸別受信機は必要なのかもしれません。今後どうするか検討します。



丸田 隆嗣 議員



問 複合施設整備事業の現在の状況は。

答 検討委員会、住民説明会等で議論を重ね、基本設計に入っていきます。

質問

平成29年11月に公共施設等集約化検討委員会を設置し、平成29年12月に基本構想案を取りまとめ、平成30年2月に決定し、これをもとに協議をかさねてきたわけですが、これは職員駐車場の横の民有地（南エリア）を取得する前の基本構想案です。その後所有者の理解を得て、取得できるという報告でした。取得できたことで、最初の基本構想案とは大きく変わったのです。

平成30年11月29日、土地取得後の検討委員会で最終案の内容で決定したいと提案した訳ですが、検討委員の中でも納得していない委員が多数いたと聞いております。これで決定できますか。

現在の計画の最終案では、民有地（南エリア）を含めた計画ではなく、当初の基本構想案と変わらなく、施設の整備計画とありますが、具体的にお聞かせください。終わってみたい駐車場になっていませんか。これでは複合施設整備事業のための土地を取得したと言えますか。

町長答弁 いろいろな場面で説明、議論を重ね、この後、基本設計に入ります。

今の役場の既存の中で利用できる庁舎は2つ、庁舎と図書館です。この部分を生かしてやっていこうと

思っております。

新しく民有地を取得し、整備をする場合も、基幹となる設備は現況の役場周辺で整備をしようと思っております。

今回取得する南地区の活用は今後検討していきたいと思えます。基本的には、例えば車両の格納庫とか、又、防災関係の部分の利用を中心に考えております。

再質問 土地が買えたので新たな考えで、検討委員会、議会等で南エリアを含めた基本構想案を最初から検討すべきだと思います。

既存施設の長寿命化の場合、複合施設として整備した場合、新築をした場合の金額を出しての検討も必要だと思えます。

町は最初の案を通そうとしていますが、補助金の期限等だと思いますが、そんなに急ぐ必要はありますか。

町長再答弁 検討委員会の中でいろんな議論をしました。その中で町としては最も大事なものは、どういう機能が必要なのかと思っております。

の建物をつくり何が必要なのかという議論が大きかったわけです。それに基づいて考えていくことだと思います。

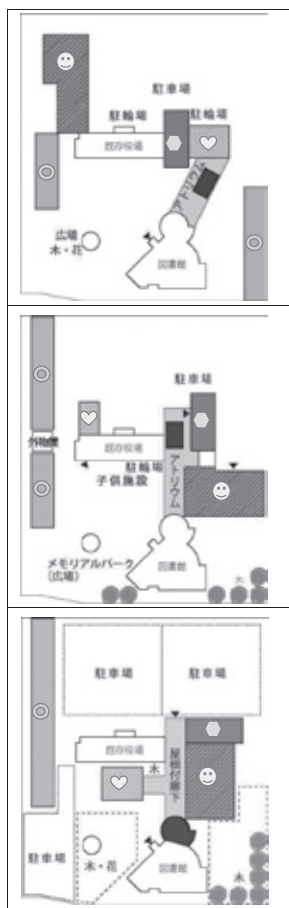
補助金とかの関係もあります。今回、期限が切られていますので、有利な起債、補助金等を活用して進めたいと考えています。

拙速ではないかとのご指摘ですができるだけ速くはしたいと思えます。

基本設計の中で住民の皆様、議員の皆様にお示しをしながら次の段階に進んでいこうと思えます。

その中で、今の施設を耐震化してもいいという議論があれば検討していきますし、壊して建て直すのもいい、もしくは既存の施設も全部壊した方がいいという議論も、出るかもしれません。ただ、必要な機能は改めて把握した上で議論を進めていくと思っております。

いずれにしても、大きな金額もかかりますので、町民の皆様にとりご理解をいただき進めていきたいと思います。



建物配置イメージ図（案）

大門 登議員



問 施設入所費用の補助について

答 独自の補助制度は考えない



アゼリアハイツ

質問 低所得者の入所費用や月々の介護費用等は、とても年金だけでは賄いきれるものではありません。低所得の高齢者で扶養してくれる家族、親族がいない方の施設入居費用や訪問介護費用の不足分を補助する考えがありますか。お伺いします。

町長答弁 低所得の高齢者で施設入所に関する補助金制度については、介護保険制度において、食費と居住費の一定額以上が保険給付の制度があり、また、介護サービスの利用料については、一定の額を超えた際には、申請により、支給される制度があります。町としては、当面、独自の補助制度は実施する考えはありません。



再質問 それぞれの軽減制度の活用のことですが、入居者は年金の範囲内で入所を希望しているのは、特別養護老人ホームで待機者も多く待つ間、民間施設では高額費用がかかることから、在宅介護のため仕事をやめる「介護離職」で現役世代にも、大きな問題となっています。低所得の高齢者の支援について、再度、お伺いします。

町長再答弁 所得の低い方には、サポートなど支援、相談等に乗っていきたいと思っています。又、他の自治体を含めて、その部分の調査を進めたいと思います。

一般質問の答弁、その後の対応は

質問 定例議会の一般質問に対して、「検討する」、「研究する」等と結んで終わることが少なくありません。公開の議場における答弁は、町長、教育長が議会を通じて町民に約束したものであり大変重いものです。どのような結論を導き出したのですか。その経過を定例議会において報告すべきと考えますが、ご見解をお伺いします。

町長答弁 決して「やらない」、「やるつもりはない」ということでなく、質問の内容の実施にあたり、その効果や課題等を考えて答弁しております。又、その案件については、議会終了後に、担当課において協議など行っております。経過等を議会で報告する事は考えていません。再度、議員からの質問に対して、誠意をもって答弁します。

再質問 その場しのぎの答弁ではなく、担当課と検討していることに理解をしています。再度、同じ質問に対して時間などのロスもあるので、定例会冒頭の町長の行政報告の中で経過報告をするか、又は、文書での対応について伺います。

町長再答弁 時代や状況によって変わることもありますので、差し控えています。

山口千春議員



問 自然災害時、非常時の保育園の対応は

答 東聖小規模保育園、中央保育園は5日から8日まで休園としました

質問 9月は台風と停電の影響により保育園を休園とすることがありました。この時の、そして今後の対応等について質問します。

台風の時に休園した日数は、そしてどの保育園を休園としたのですか。

次に停電の時ですが、休園の連絡はどのようにしましたか。どうしても預かってほしいという父母がいたようですが何人の子供を預かりましたか。

仕事の関係上どうしても預かってほしいという父母が必ずいます。子供を預かることを前提として、今のうちに対策を考えておくべきではありませんか。

町長答弁 台風と停電により東聖小規模保育園、中央保育園は5日から8日まで休園としました。休園についてはその都度判断し、私立の保育園は各園に判断を任せています。

停電時の連絡は防災行政無線で行い、午後になりメールでお知らせしました。一時預かりの対応状況は6日に10人、7日に9人、8日に5人でした。

今回の災害の経験を踏まえて園児の安全確保を最優先にした対応と保育園の整備について対策を講じてまいります。

国の新しい森林政策への対応は

質問 森林経営管理法の成立より来年4月より新たな森林管理制度がスタートします。そこで以下のことについて質問します。

・町の森林の現状は。民有林の私有林・公有林の面積、割合は。

・事業実施体制は検討されていますか。町の森林組合、民間事業者とどのように連携していきますか。

・提示された譲与税の見込額は。

・森林整備以外にも譲与税は使えますが、教育分野あるいは町の林業活性化のため木材利用の促進等の使途は検討していますか。

町長答弁 本町の森林の現状は私有林1,348haで97・8%、町有林30haで2・2%、合計1,378haとなっています。

事業実施体制については町が中心となり森林組合や道など関係組織と連携した体制となると思います。森林組合と民間事業者との連携については、経営管理が行われていない森林の管理委託や未整備林の把握、地域材の利用促進など協議を進めていきます。

譲与税額は来年度は190万円と示されています。現時点では基金として積み立て、町の森林有効活用策を検討します。

過去取りやめたフットパス整備の再考を

質問 道内でも多くのフットパスが着々と整備されています。またフットパスとは別にウォーキングルートとして整備されたものもあります。

中央地区、ひじり野では朝夕健康づくりのため歩いている方を多く見かけます。町民の健康のためや観光客呼び込みのためにもフットパス、あるいはウォーキングルートの整備をしたり、コース指定をしてみるべきではありませんか。

町長答弁 健康づくりのためウォーキングやジョギングのしやすいまちづくりを推進していきたいと考えています。現在、北海道健康づくり財団と道の健康福祉部が実施している「すこやかロード認定事業」においてポン川河川敷及び森林公園内の2コースが認定されています。このほか現在、市街地やひじり野を出発点とするジョギングコースマップの作成準備をしています。来年3月公表予定です。



美しい散策路（写真は上富良野のフットパス）

■中屋 豊孝■議員



問 まちづくりの基本は

答 住民との対話を基本と考えており、まちづくり懇談会や町民の声を直接届ける方法として「町長への手紙」等を実施しています。

質問 まちづくりの基本は、地区行政区や地区公民館の人と人のつながりと考えていますが、「大型事業」が続く中、どれだけの町民の声を聴き、取り組んでいるのでしょうか。また、地域づくりの基本と言える行政区への不参加が公営住宅入居者で増えつつあり、その対応をどのように考えているのでしょうか。

町長答弁 まちづくりは、「住民の対話」を基本と考え町民と意見を交換する懇談会等を開催しています。公営住宅の入居時には、管理人や隣戸・区長・町内会長に必ず挨拶するように周知はしていますが、町内会加入を条件としていません。町としては、町内会はコミュニティの基礎となる組織であり、協働のまちづくりには重要な組織と考えています。

特定健診の個人負担に助成を

質問 健康な人づくりを進めるために、「特定健診」、「がん検診」などの各種検診の受診が必要です。特に健診率増加により「国民健康保険料」が軽減する「特定健診」の全額助成をできないでしょうか。

町長答弁 現在「がん検診」は受診料の約70割相当を負担し、「特定健診」は30割負担のうち20割を負担しておりますが、現在定額負担の検討を進めております。

定住・移住・空き家対策について

質問 定住・移住・空き家対策でひじり野地区・中央市街地区以外の対応は、充分と言えるでしょうか。又、未来につなげる「住まいの輪」促進事業や「農村余力活動機能整備事業」の状況をお聞かせください。

町長答弁 本年7月から開始した未来につなげる「住まいの輪」促進事業は、中古住宅流通活性化支援で6件・耐震改修工事で1件・バリアフリー化工事で1件、105万円が現在の実績で、「農村滞在型余暇活動機能整備計画」に基づく農家カフェは1件営業を開始しています。移住・定住は、ここに住みたいと思える魅力あるまちづくりを進め、移住したくなる魅力あるまちづくりに努めてまいります。



補助制度を紹介したパンフレット

アライグマの対策について

質問 アライグマ対策について再度お聞きします。平成30年度の実績とその後の対策についてお聞きします。

町長答弁 本年の捕獲状況は、85頭と年々増加しております。今後捕獲技術や体制・労力等諸問題に関係機関とも連携して生息数の削減に向けた取り組みを強化していきます。

台湾交流事業と外国人労働者について

質問 「東神楽日台親善協会」が設立されるなど、今後一層東神楽・台湾の交流が進むと思われますが、交流事業の詳細をお聞かせ下さい。又、入国管理法の改正により、外国人技能実習生が増加すると思われるですが、現在の状況と今後の対応をお聞かせ下さい。

町長答弁 台湾交流事業に係る平成29年度415万5千円・30年度57万円で台湾青少年派遣事業や米輸出振興などのほとんどが旅費となっております。又、外国人技能実習生は、現在ベトナム24名・モンゴル4名・中国3名となっております。今後の対応としては、地域を構成する住民としての両面から、国の動向を踏まえて検討してまいります。

問 高卒までの医療費を無料化に。

答 財政状況を見て検討します。

生 出
栄 議員
(日本共産党)



東神楽小学校給食のようす

質 問 給食の無料化と高校卒業までの医療費無料化が、全国の市区町村で実施が増えています。我が町では、いつ実施に踏み切るのですか。

町再答弁 我町の中学卒業までの医療費の内、中学生分の支出が、約八百万円あり、高校生も対象とすると同程度の見込みがあると考え、現在の所、厳しいと考えます。

教育長答弁 給食費の月額は小学校四千五百円、中学校五千二百円になっていきます。全国千七百四十自治体中、無償化・一部助成町村は、四百二十四自治体（二四・四％）になっています。

再質問 高校卒業まで無料化の実施町村を調べると、思ったより医療費はのびていないという事で踏み切っている状況があります。見込みが過大見積り、見込み違いを認め実施に踏み切っても良いと思うがどうですか。

町長再答弁 我町は高校の通学費も補助させていますし、過疎債等、有利な財源が他町と違い、ありませんので財政上、給食費含めて、一律には考えていません。

安全な町、ひがしかの為に

質 問 我町の交通事故件数と、除雪体制含めての改善策は。

町長答弁 東神楽交番によりますと、昨年十二月から今年十一月までの一年間で、路外転落事故が三十六件、交差点での衝突事故が五十七件、計九十三件の事故が発生していますが、町道旭東線以外の改修計画はありません。除雪体制は除雪車輛14台中、6台にバックカメラを装備し、安全確保を図っています。

再質問 ホワイットアウト対策と志比内公民館前の除雪対策と農村地帯の木戸口置き雪問題の対策強化を計る必要があるのではないか。

町長再答弁 住民の皆さんにとって良い除雪を進められる様、努力していきます。

決着済みというなら公開を

質 問 不起訴の町職員を懲戒免職に決定した議事録を本人にも町民にも非公開なのは、町民に疑問を助長する事になりはしないか、又、退職届の提出強要の有無と、処分決定前の診断書の所在を確認します。公開を司法に訴えなければ出さないのですか。公開できない理由は何ですか。

投葉の事実を知っていたら、こんな処分はしなかったと裁判所で証言していたことは町長も裁判所にいたのでおぼえていると思いますが、処分前に出されていた医大の診断書はどこに行ったのですか。無視して処分したのですか。それとも偽証をしたのですか。

町長答弁 退職強要の事実はありません。旭川医大の診断書は複写したものを保管しています。議事録は、情報公開条例の規定に基づき非公開になっています。

再質問 退職強要はないと断言できるのですか。行政報告も虚偽だったのですか（議事録精査のため暫時休憩）。

町長再答弁 診断書は当時担当だったので見えています。従前のおりです。

窪田 功議員



問 ふれあい交流館に自家発電機の設置を

答 避難所の規模や施設内設備の状況を勘案しながら設置を検討してまいります

質問 9月6日、胆振東部地震で道内を襲った全域停電により、ひじり野地域の生活や情報不足により、不安を与えて大きな影響を及ぼした出来事でありました。ふれあい交流館に自家発電の設備が無く、東聖小学校の体育館に住民の避難所として開設されたのですが、広い体育館にテレビが無く、情報を得る手段も無く不安な夜を過ごしていました。ふれあい交流館が避難所に指定されると、利用される方も多くいたと思います。図書室やテレビも有り使い勝手も良かったと思います。今後の事を考えて発電機の設置を望みます。

町長答弁 指摘のとおり、ふれあい交流館を避難所として使用できれば、図書室も利用できるなど使い勝手も良かったと思います。今回のブラックアウトを経験し、避難所の規模や施設内設備の状況を勘案しながら、計画的に非常用発電機の整備を行いたいと考えており、設置を検討してまいります。

再質問 発電機の設置を検討でなく、速やかに取付けるといふ答弁をいただければと思います。

町長再答弁 有利な補助等々もいただける部分で努力して、次年度の予算に向けて対応したいと考えております。

11号バス停留所に待合場の設置を



ひじり野ふれあい交流館

質問 寒い冬がやって来ましたが、中学生や一般の方の利用者に待合所を作る考えはないのか。考えをお聞かせ下さい。

町長答弁 現在、中学生の登下校にありましては、旭川電気軌道において東神楽中学校の通学専用バスが運行されており、下校時におきましては、毎日2回まで学校が指定する時刻にバスが校舎前から運行することになっており、東聖ひじり野地区から通学する中学生については、概ねこのバスで対応できていると伺っております。11号バス停留所には小規模な待合所を設置しており、その拡充には用地の確保も必要なこ

とから、現段階においては、待合所を拡充する考えはございません。

義経公園のリニューアルをいつ

質問 この件については以前一般質問で取り上げましたが、今まで実現されていません。当町の考えをお伺いします。

町長答弁 義経公園の噴水の改修についての質問のことだと思われすが、この件に関しましては、すでに平成28年6月に補修を完了しております。平成28年には噴水スクリーンの設置、平成30年には噴水用ポンプの電源部の修繕も行っております。将来的な義経公園全体のリニューアルについては、複合施設整備事業を含めた中央市街地の活性化を見据えて方向性を検討してまいりたいと考えております。



義経公園の噴水

両常任委員会合同所管事務調査

12月3日、議員全員で11月末に建物が完成した「さくら町団地2」の視察をしました。

「さくら町団地2」は2棟で1棟4戸で、8戸が入居できます。

1階は2LDKが2戸、2階は1LDK1戸と3LDKが1戸です。外構工事を含めて12月20日完成しました。



さくら町団地2

文教産業常任委員会合同所管事務調査

日時・11月26日

場所・東神楽小学校・志比内公民館
出席者・渡辺委員長・大門副委員長
清野委員・生出委員
蒔田議長・岡崎事務局長

学校給食の試食

日頃、児童達がどのような給食を食べているのか児童や先生方と共に試食をしました。

児童達は一年生から六年生までを縦割りで6班に編成し、班ごとに給食や掃除当番を行い、協同で活動する事により交流を深めていきました。

「米」を主体とした食材を東神楽産農産物で賄う事が大切であり、利用率向上にむけた努力が必要であると再認識しました。

志比内公民館役員との意見交換

「さくらプラザ」を交流の場として地域が一体となり、山村留学の子供達や家族と共に地域の活性化に努力している役員の皆さんと、多くの意見と意気込みを聞かせていただきました。自治公民館として、将来の地域改革の先駆けとして、期待すると共に大変、勉強になりました。



志比内公民館「さくらプラザ」



東神楽小学校 ランチルーム

第4回定例会議案審議

冬の生活支援事業を増額

低所得高齢者や障がい者、ひとり親世帯に対する冬季間の燃料及び暖房器具購入費の一部を助成する事業です。

灯油価格高騰などにより支給単価を見直しました。予算作成時には1リットル100円以下を想定していましたが、10月以降100円を越える傾向にあったため事業費を増額補正しました。

第三の居場所設置事業にB & G財団からの補助決定

東神楽町では、B & G財団の助成を受けて「家でも学校でもない第三の居場所」を整備します。この事業は、子どもたちの家庭環境や発達の違いなどにより、さまざまな支援が必要となる小学生で、放課後家庭での保護者等の監護等を受けることができないう児を対象に、生活習慣や学習支援などを行い、心の安定と自立する力を育みます。この「第三の居場所」は来年度6月以降の開設を目指して準備を進めます。

地域づくり交付金（農業ハード）事業採択により補助金を追加

北海道が行う地域づくり総合交付金事業において事業採択となったため農業振興施設等整備事業補助金を追加しました。

これはJA東神楽が事業主体となり野菜収穫機の購入、大麦若葉乾燥機械設備の整備、無洗米、真空パックに対応した精米施設の整備に対する補助事業です。



野菜収穫機（購入する機械の写真ではありません）

中体連大会等参加支援事業を増額

中体連大会等において全道大会出場決定、全国大会出場見込みのため

補助金を増額補正しました。今年も東神楽中学校生徒の活躍が期待されます。

倶知安町、余市町で開催される北海道中学校スキー大会、新潟県で開催される全国中学校スキー大会にクロスカントリースキー、複合の各競技に、札幌市で開催される全道ジュニア女子ソフトボール大会、北海道アンサンブルコンクールに出場が決定並びに見込まれます。

固定資産評価審査委員の選任に同意、人権擁護委員の推薦を相当と決定

固定資産評価審査委員会委員が任期満了となるため、委員の専任について議会の同意が求められました。賛成多数で議会が同意し、三井節子氏が再任されました。

人権擁護委員の任期満了に伴い、新任者の推薦について議会の意見を求められました。助乗清光氏の推薦を相当との意見を付することと決定されました。

主な議案

平成30年度一般会計補正予算	補助決定による第三の居場所の拠点整備費の増額など
平成30年度公共下水道特別会計補正予算	汚水の処理量の増加に伴う増額など
平成30年度水道事業会計補正予算	事業費の精査などによる補正
特別会計の一部を改正する条例	法改正により企業会計に移行するため下水道事業会計の設置
住宅使用条例の一部を改正する条例	旧志比内駐在所及び志比内小学校教職員住宅の住宅使用料を追加
公共賃貸住宅等の管理条例の一部を改正する条例	地域優良賃貸住宅の公募の例外に關しての規定を追加
地区計画等区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	都市計画用途地域の変更に伴い、ひじり野西地区の計画地区の変更をするため改正
個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	生活保護法に進学準備給付金制度が創設されたことに伴い改正
固定資産評価審査委員会委員の専任について同意を求める件	委員が任期満了となるため、新たな委員の選任について議会の同意を求める
人権擁護委員候補者の推薦の件	新任者の推薦について議会の意見を求めるもの

議会の動き 10月16日以降

委員会

開催日	開催場所	会議の名称・内容等	出席・参加者等
10月16日	委員会室B	議会広報常任委員会(第11回)	委員長、委員
11月26日	東神楽町	文教産業常任委員会(第4回)	委員長、委員
11月29日	委員会室B	議会運営委員会(第8回)	委員長、委員
12月7日	委員会室B	議会運営委員会(第9回)	委員長、委員
12月13日	委員会室B	議会広報常任委員会(第12回)	委員長、委員
12月25日	委員会室B	議会広報常任委員会(第13回)	委員長、委員
1月11日	委員会室B	議会広報常任委員会(第1回)	委員長、委員

議長・議員

開催日	開催場所	会議の名称・内容等	出席・参加者等
11月8～9日	東神楽町	中央部市・町議会議長会正副議長研修会	議長、副議長
11月20日	東京都	上川町村議会議長会臨時総会	議長
11月21日	東京都	第62回町村議会議長会議長全国大会	議長
11月21日	東神楽町	旭川空港国際線ターミナル内覧会	副議長、議員
11月22日	東神楽町	旭川空港国際線ターミナルオープニングセレモニー	副議長、議員
11月23日	東神楽町	東聖小学校創立120周年記念式典	副議長、議員
12月1日	当麻町	当麻町役場新庁舎落成記念祝賀会	議長
12月7日	委員会室A	議員協議会(第16回)	議長、議員
12月9日	東神楽町	東神楽幼稚園開園50周年記念式典	議長、議員
12月12日	議員控室	議員協議会(第17回)	議長、議員
1月5日	東神楽町	消防出初式	議長、議員
1月8日	東神楽町	新年交礼会	議長、議員
1月13日	東神楽町	成人式	議長、議員



新たに取得した
超音波診断装置

- 日時
平成30年11月28日
- 議案
- ・平成30年度一般会計補正予算
 - ・国保診療施設勘定補正予算
 - ・公共下水道特別会計補正予算
 - ・水道事業会計補正予算
 - ・議員報酬に関する条例改正
 - ・特別職員の給与に関する条例改正
 - ・町職員の給与に関する条例改正
 - ・物品取得の件
- 内容
- ・人事院勧告及び職員の異動による増額
 - ・町立診療所 超音波診断装置、付属品含む一式購入
- 全体で550万1千円
1290万円

第5回臨時会

表紙のおはなし



平成三十一年一月一日
雪華舞うなか、義経太鼓
保在会の皆様が「今年も良
い年になるよう」にと、力
強く打つ音が境内に響き
渡っていました。

議会の傍聴してみませんか？

住民の皆さまが、会議の状
況を直接見聞きできるよう、
本会議室には傍聴席が設けら
れています。
◎次回の議会は2月28日(木)の
予定です。

寄付行為の禁止

議員は、選挙区内にお金や物
を送ることや文書による挨拶行
為等が法律で禁止されています。
また、町民の皆さまが寄付を
求めてもいけません。
ご理解をお願いします。

祝 議会だより

発刊100号特集



入選の盾



今までの議会だより



議会広報委員一同

議会だより100号
発刊に当たり

第一号（平成6年5月）創刊号から始まり、今まで多くの広報委員の努力によって、ここまで繋いで頂きました。

第87号は初めて「北海道町村議会広報コンクール」に入選しました。

今後とも町民皆様と議会の「架け橋」となるよう努力して参ります。

岸本源正氏



新村正司氏



農民連盟から陳情書が議会に届き、議会運営委員会で何度も審議を行いました。議員の中でも必要ないと反対の意見が上がったこともあり
ました。

議長が吉尾實氏に代わり、「町民の声を」との助言と、議会事務局長

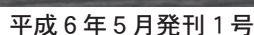
の石川四郎氏と発刊にあたり、議論を重ねた結果、作業が議員自ら行い、事務局を頼らないことで確認され、定例会にかけられました。

農民連盟青年部の傍聴の中、議員満場一致で「可決」しました。

いざ、議会広報誌を作るにあたり、各委員会から2名、計6名で始めたのですが、ゼロからのスタートで構成やレイアウトも分からず、大変苦労を致しました。

時には元衆議院副議長の安井吉典先生に添削をお願いしたこともありました。のちに、議会事務局長の石川四郎氏に助けて頂きながら、町民に分かりやすい文章や写真を多く取り入れ、町民目線に立った議会広報誌づくりに努めました。

お二人に伺った話を基に広報委員会でまとめました。



議会の広報誌の発刊の
陳情しました

元農民連盟青年部執行委員長

吉峰哲也氏



当時、農民連盟青年部執行委員長であつたことで、近隣の町村との関わりが多くありました。近隣には議会広報誌があり、議会の様子が分かるのに、なぜ、当町の議会には議会広報誌が無く、閉ざされた議会なのかと思つたことが始まりです。

農民連盟執行委員
長の井戸端幸一氏や
委員達で陳情書を議
会にあげました。

その陳情書がなければ、まだまだ議会広報誌は近隣町村から遅れていたのではないかと思います。

議会広報創刊にあたって

議会広報を発刊するにあたり、先進地に視察、及び調査を重ね、その上準備委員会を通して規約、基本方針、並びに申し合せ事項を十分に積み上げた後、本年度第一回定例会において、議会広報特別委員会を設置し委員の選任がなされました。

この創刊号から定例会を中心に年四回発行し議会とお茶の間を結び、行政と町民のかけはしとなるよう編集委員一同心を引き締め取り組んでまいりました。

しかしまとめを進めるに従ひ企画
発想は天をつき、行動と實力は地を
はうありさまで幾度も厚い壁にあた
りましたが、くじけず期日まで発刊
する事を最大の使命としてまいりま
した。

このようなことから、内容については充分とは申しませんが、今後議員並びに職員各位のご協力をいたいただく中で諸問題はクリアしてまいりたいと考えております。

この議會だよりが茶の間の傍聴席として、お役に立つ事が出来るよう努力する事をお誓い申し上げあうとがきいたします。

議
会
広
報
特
別
委
員
会

委員 長	岸 本
副委員 長	新 村
委 員	塚 田
	正 弘
	正 司

吉原美智子
相原 国雄
生出 荣



☆ 帰ってきたくなる町であり続け
て欲しい。
三浦 夢叶

☆ いまの東神楽町が好きです。
吉田ひかり

☆ より人口を増やし、活気のある
町になって欲しい。
矢野 瑞季

☆ このままの東神楽町であって欲
しい。
加藤 奈月

☆ もっと商業施設が増えて、旭
川みたいに活気のあるまちに
なって欲しい。
甲野 美憂

☆ 旭川に負けない活気のある町に
なって欲しい。
及川 絢美

☆ 理学療法士になって頑張るぞ！
吉尾 涼佑

新たな夢に向かって“輝け新成人”
（夢・希望、東神楽町に期待することは）

■議会広報常任委員会

委員長	竹久美紀恵
副委員長	山口 千春
編集委員	渡辺 一志
森國 孝芳	
生田 栄	
伊藤 一乗	

